

山縣勝見賞歴代受賞者一覧

(敬称略)

年度	回数	著作賞	論文賞	功労賞 ※受賞者の肩書きは受賞当時のものです。	特別賞 (2014年新設)
2008年	第1回	宇佐美昇三著 『笠戸丸から見た日本ーたたかたに生きた船の物語ー』 (海文堂出版、2007年2月)	石黒行雄著 「定期船海運の法政策に関する比較研究ー海運の公共性から見た競争法適用除外の擁護ー」(横浜国立大学大学院国際社会科学研究所国際法専攻博士学位申請論文、2007年12月)	地田和平 (一橋大学名誉教授、青山学院大学名誉教授)	—
2009年	第2回	(株)商船三井海法ゼミナール編・中村眞澄監修 『最新海事判例評釈第Ⅲ巻』 (海法研究所、2008年3月)	逸見真著 「便宜置籍船舶」(信山社、2006年12月、原題「船舶の国籍における実質性について：便宜置籍船による問題を中心として」：筑波大学大学院ビジネス科学研究科博士学位申請論文、2006年3月)	北見俊郎 (青山学院大学名誉教授)	—
2010年	第3回	宮本三夫著 『太平洋戦争 喪われた日本船舶の記録』 (成山堂書店、2009年3月)	新井真著 「自然資源損害賠償と懲罰的損害賠償の接点：エクソン・ヴァルデイス号事件を契機とした米国の動向とわが国における射程」(早稲田大学大学院法学研究科博士学位申請論文 2009年2月)	戸田修三 (中央大学名誉教授)	—
2011年	第4回	該当なし	長谷知治著 「環境に優しい交通の担い手としての内航海運・フェリーに係る規制の在り方についてーカボタージュ規制と環境対策を中心にー」(当財団『海事交通研究』第59集、2010年12月)	柴田悦子 (大阪市立大学名誉教授)	—
2012年	第5回	木村栄一、大谷孝一、落合誠一編 『海上保険の理論と実務』 (弘文堂、2011年8月)	榎本啓一朗著 「航海・備船契約における混船のリスク」(2) 『海事法研究会誌』2010年5月号・8月号掲載)及び「パース・チャーターか、ポート・チャーターか目的地表示原則とその運用」(2011年10月号発表、『海事法研究会誌』2012年2月号掲載)	織田政夫 (東京商船大学名誉教授)	—
2013年	第6回	瀬野克久著 『船舶融資取引の実務』 (日本海運集会所、2012年2月)	瀬田真著 「民間海上警備会社(PMSC)に対する規制とその課題 ～海賊対策における銃器使用の検討を中心に～」(当財団『海事交通研究』第61集、2012年11月)	山岸寛 (東京海洋大学名誉教授)	—
2014年	第7回	武城正長著 『便宜置籍船と国家』 (大阪商業大学比較地域研究所研究叢書第13巻、御茶の水書房、2013年3月)	該当なし	宮下國生 (関西外国語大学外国語学部教授、神戸大学名誉教授)	・一般社団法人 日本船長協会 「子供達に海と船を語る(船長、母校に帰る)」事業 ・竹田 いさみ著『世界史をつくった海賊』(ちくま新書 2011年2月) 及び『世界を動かす海賊』(ちくま新書 2013年5月)
2015年	第8回	大坪新一郎・加藤光一・仲條晴男・成瀬健共編著 『シップリサイクル条約の解説と実務』 (成山堂書店 2014年6月刊)	鈴木理沙著 「定期船・不定期船を対象とした外航海運におけるCO2排出量の削減策の検討に関する研究」(東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科・応用環境システム学専攻・博士学位申請論文、2014年3月)	杉山武彦 (運輸政策研究所所長、一橋大学名誉教授(元学長))	公益財団法人 日本殉職船員顕彰会 戦争等による殉職船員の慰霊とその功績を伝える事業 に対して
2016年	第9回	(株)日本海洋科学者・関根博監修 『美談航海術』 (成山堂書店 2015年9月刊)	旭聡史著 「海上物品運送人の定額賠償制度に関する研究」(早稲田大学大学院法学研究科 博士学位論文2014年7月)	井上欣三 (神戸大学名誉教授)	・氷川丸ものがたり製作委員会(代表:かまぐら春秋社社長、伊藤玄二郎)製作長編アニメ映画「氷川丸ものがたり」(2015年8月上映) ・森隆行著『神戸港 昭和の記憶 仕事×ひと×街』(神戸新聞総合出版センター 2014年11月刊)

山縣勝見賞歴代受賞者一覧

(敬称略)

年度	回数	著作賞	論文賞	功労賞 ※受賞者の肩書きは受賞当時のものです。	特別賞 (2014年新設)
2017年	第10回	木原知己著 『船舶金融論―船舶に関する金融・経営・法の体系―』 (海文堂出版 2016年5月刊)	・西崎ちひろ著 「見張り作業における操船者の状況認識と見張り支援に関する研究」 (東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻 博士学位論文、2016年3月) ・若土正史著 「大航海時代におけるポルトガル「イン」航路」の海上保険の活用について」 (神戸大学大学院経済学研究科経済学専攻 博士学位論文、2016年3月)	國領英雄 (神戸商船大学名誉教授、大阪学院大学名誉教授)	該当なし
2018年	第11回	岸本宗久編著 『海上衝突予防法史概説』 (成山堂書店 2017年2月刊)	畑本郁彦著 「内航船舶の安全管理体制構築に関する研究」 (神戸大学海事科学研究所／海事科学専攻 博士学位論文 2017年9月)	今渕程馬 (東京海洋大学名誉教授)	谷川夏樹(画家) 船や海運に関する絵本『かもつさんのいちにち』『コンテナくん』等に対して
2019年	第12回	該当なし	丹羽康之著 「海上無線通信を活用した船舶の位置情報共有に関する研究」 (東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科／応用環境システム学専攻 博士学位論文 2018年3月)	富田昌宏 (神戸大学名誉教授)	・海部 陽介(人類進化学者) 「3万年前の航海 徹底再現プロジェクト」に対して ・野間恒(海事史家) 長年にわたる海事史研究活動に対して
2020年	第13回	・小林登著 『定期傭船契約論』 信山社出版2019年7月刊) ・水本邦彦 『海辺を行き交うお触れ書き―浦触の語る徳川情報網』 (吉川弘文館 2019年7月刊)	該当なし	池田 宗雄 (元東海大学海洋学部教授)	菊池金雄 長年にわたる太平洋戦争時の徴用船の記録・取材活動に対して
2021年	第14回	該当なし	小林充著 「内航船舶「エザール」―「ベンダ」の開発と改善に関する研究」 (東京海洋大学 博士学位授与論文 2020年3月認定 工学博士)	該当なし	・北前船日本遺産推進協議会 北前船寄港地・船主集落の知名度を高める活動に対して ・木村博一(広島大学教授)及び村上忠君(広島大学付属三原小学校契約教諭) 小学校社会科で海事教育の研究ならびに授業での人材育成に対して
2022年	第15回	瀬田勝哉著 『戦争が巨木を伐った―太平洋戦争と供木運動・木造船』 (平凡社 2021年1月刊)	万谷小百合著 「海上衝突予防法の適用条文解釈における漁ろうに従事する船舶運航者―一般動力船運航者の差異に関する研究―自動運航船を基据えた現行法の基準値検証―」 (神戸大学大学院海事科学研究科博士学位論文 2021年3月)	山上徹 (同志社女子大学名誉教授)	五十嵐温彦 太平洋戦争に於ける各船社航跡資料集の編纂に対して

山縣勝見賞歴代受賞者一覧

(敬称略)

年度	回数	著作賞	論文賞	功勞賞 ※受賞者の肩書きは受賞当時のものです。	特別賞 (2014年新設)
2023年	第16回	伊藤玄二郎編 『船の仕事 海の仕事』(全日本海員組合発行、かまくら春秋社発売 2022年5月刊)	・吉田正則著 「人間工学とルール形成戦略からの自動運航船に関する国際規則と技術革新の同時構築」 (東京海洋大学博士学位授与論文 2021年9月) ・亀井志聖著 「自動車運搬船の貨物積載時における甲板強度判定方法に関する研究」 (東京海洋大学博士学位授与論文 2021年9月)	庄司邦昭 (東京海洋大学名誉教授)	滋賀県立びわ湖フローティングスクール 琵琶湖を舞台に学習船「うみのこ」を使った海事教育に対して
2024年	第17回	・根川 幸男著 『移民船から世界をみる 航路体験をめぐる日本近代史』 (法政大学出版局 2023年8月刊) 松尾 俊彦著 『日本の内航海運の研究』 (晃洋書房 2023年12月刊)	該当なし	高田 富夫 (流通経済大学名誉教授)	堀川 恵子(ジャーナリスト、ノンフィクション作家) 『戦の字品 陸軍船舶司令官たちのロジック』(講談社)は、日本にとっての船舶の重要性に注目し、シーレーンの安全と船舶による輸送力の確保が、平時にも戦時を決して欠けてはならないことを伝えるために、太平洋戦争開始前に、広島・字品の陸軍船舶司令官であった田房昌次中将の膨大な手記をはじめとした資料や聞き取り調査を元に着した渾身の力作であり、この本を通じての船舶の重要性を伝える講演活動に対して
2025年	第18回	該当なし	・齋藤 学著 「作業乗員検査および操船シミュレータを用いた操船者のノンテラニカルスキル向上教育訓練に関する研究」 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科博士学位授与論文 2024年度(2024年9月) ・伊藤 洋平著 「アメリカ法におけるマリタイム・エントの研究」 早稲田大学大学院法学研究科博士学位授与論文 2023年度(2023年3月)	池田 良穂 (大阪府立大学名誉教授)	瀬戸内海巡回診療船 済生丸 済生丸は船ならではの特性を活かし、地域の人々の健康に長期にわたり多大な貢献をしてきた功績に対して。